

# 第4回「杉並区教育ビジョン2022」意見交換会 報告書

開催日：令和4年7月9日  
会場：井荻小学校

## 『みんなのしあわせ』のために自分ができること

「杉並区教育ビジョン2022」では、私たちが大切にしたい教育として「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を掲げています。今回の意見交換会では、井荻小学校の6年生が「みんなのしあわせ」のために自分に何ができるのかを考えました。



ひとの「しあわせ」を聞くことで、その人が何を大切にしているのかを知ることができました。



クラスメイトの「しあわせ」を図示すると、興味深いフレーズがたくさん出てきました。

### ①「自分のしあわせ」って何だろう

まず、「自分のしあわせ」は何なのか、児童一人ひとりが考えタブレット端末に入力しました。そのあと近くの人と、「自分のしあわせ」を伝え合いました。いろいろな人と話し合いをしていくうちに、しあわせに感じるものが人それぞれ違うということが分かりました。

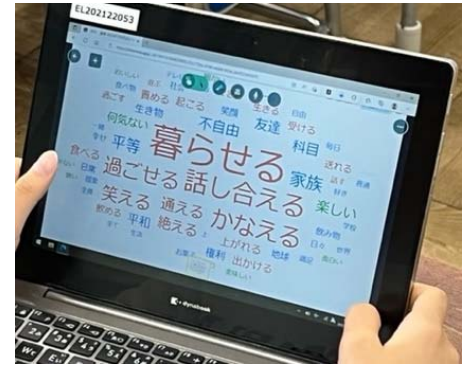
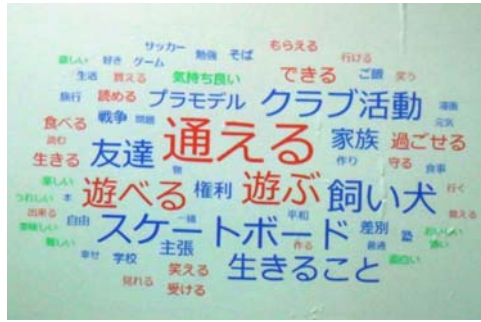
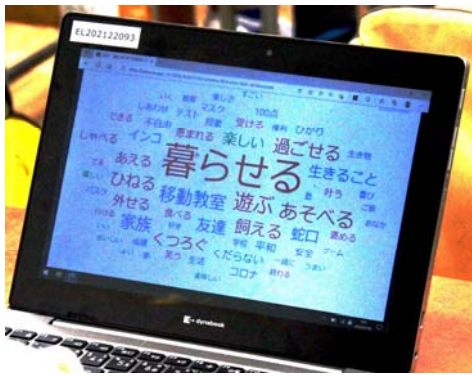
### ②「みんなのしあわせ」を見てみよう

次に、それぞれの児童がタブレット端末に入力した「自分のしあわせ」をクラスのみんで共有しました。共有には、一人ひとりが提出した意見からキーワードを拾い上げて図示するソフトが使われました。このソフトでは多くの児童が使用したキーワードほど大きく、真ん中に表示されるようになっており、みんなの意見を視覚的に捉えることができます。

全3クラスうち、2つのクラスで「暮らせる」というフレーズが真ん中に表示されました。「平和に暮らせているからこそ、ご飯を食べたり、勉強したりできるのだと思う」などと、日常の暮らしの大切さを感じている児童が多くいました。

また、「蛇口」というフレーズが表示されたクラスでは、該当の児童が「蛇口をひねると水が出てくるのがしあわせだと感じる」と説明してくれました。

続いて、みんなのしあわせを聞いて思ったことや感じたことを何人かの児童が発表してくれました。「しあわせは事実や状況のことではなく、受け手が感じるものだと思う」「同じことを書いていても、理由を聞くと違うところが面白い」などの意見がありました。



3クラスそれぞれで  
視覚化した「みんなのしあわせ」

### ③みんなのしあわせのために自分にできることは何だろう。

みんなのしあわせを共有した後、みんなのしあわせのために、自分にできることは何かを考えました。「まずは自分がしあわせになるようにする」「一緒に笑い合い、しあわせを共有する」「話を聞くようにする」など様々な意見が出ました。中でも多かったのが「生きる」という意見で、ある児童は「みんなとしあわせになるためには自分が生きていなくてはいけない」と話してくれました。

### ④授業を聴いて

今回は教育長のほかに、教育委員の久保田委員と伊井委員が授業の様子を参観しました。



久保田委員

白石教育長

伊井委員

教育長「しあわせって抽象的な言葉なので、なかなか考えづらいのかなと思っていました。ただ皆さんしっかり考えられていて、すごいと思いました。」

久保田委員「辛（つらい）」と「幸（しあわせ）」という字はよく似ています。つらい時も、もう少し頑張ればしあわせになれるのではないのでしょうか。」

伊井委員「みなさん、自分の言葉で考えていて素晴らしかったです。今日は、年齢が離れている皆さんにたくさん教えてもらいました。ありがとうございます。」

### 意見交換会を振り返って

授業の最後に先生から感想を聞かれたある児童が「何をしあわせに感じるかは、人それぞれ違うことが分かりました。だからみんなのことを尊重することが大切なのだと思います。」と答えてくれました。お互いを認め合い、ちがいを受け入れることの大切さに自らたどり着くことができる子どもの考える力に、強く感動を覚えました。また今回の授業では、児童の意見からキーワードを拾って図示するなど、ICTを積極的に活用していました。議論の活性化や意見の共有、そして子どもたちの好奇心を高めるという点でICTを活用した授業が非常に効果的であると感じました。

第4回「杉並区教育ビジョン2022」意見交換会 報告書

- ・開催日 令和4年7月9日
- ・参加者 井荻小学校6年生

令和4年8月 編集・発行 杉並区教育委員会 庶務課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号 電話 03-3312-2111